

身の回りの化学物質について

最近、インテリアや日用品を取り扱っているお店の中で、ふと化学物質特有の嫌な臭いに気づくことがあります。そこで、私たちの身の回りの化学物質について調べてみました。

私たちは国内で約5万種（世界では約7万種）もの人工の化学物質の中で暮らしているといわれています。これら化学物質の中で、人への有害性が明らかであり汚染経路が判明しているものについては法律により規制が行われていますが、対象となる化学物質の数はわずかであり、膨大な数の化学物質全てに対応するのは難しいといわれています。また、今まではさまざまな化学物質が環境中に排出されていることが漠然と分かっていても、具体的に身の回りの化学物質の現状について十分な情報がありませんでした。しかし平成11年より全国の化学物質を取り扱っている企業などの事業所が、1年間にどの化学物質を、どれだけの量、環境中に排出したかについて報告を行い、国が集計し公表を行う法律（PRTR法）ができました。この法律により、人の健康や生態系に有害なおそれのある約300種の化学物質の排出についての情報が行政・企業・市民で共有することができ、市民も積極的にこれら化学物質の情報を得ることができ、疑問や意見を企業や行政に伝えながら、身の回りにある化学物質の問題について一緒に改善を進めて行くことができるようになりました。

次に、一般的な一日を実例に挙げ、身の回りの化学物質について考えてみたいと思います。まず朝に洗顔料で顔を洗い、整髪料で髪型を整え、シェービングクリームで髭を剃り、朝食後台所用洗剤で食器を洗い歯磨き粉で歯を磨きました。次に洗濯用洗剤でシャツを洗濯し、カビ取り剤で浴槽を洗い、シューズクリームで靴を磨き、レインコートに防水スプレーを使いました。昼からホームセンターで掃除機の紙パック、押し入れ用の衣料用防虫剤、部屋の芳香剤を買い、帰宅後はハンドソープで手を洗い、夕食後は風呂場でシャンプーを使いました。就寝前にゴキブリが出てきたのでスプレー式殺虫剤で退治しました。こうして一日が終わりましたが、私たちは下線で示すような化学物質を用いた多くの商品に頼った生活をしていることがよく分かります。

私たちの暮らしに便利な化学物質は、今や生活必需品になってきています。しかし将来の子供たちのためにも、化学物質の含まれる商品を必要以上に使用しない、廃棄する場合は定められた方法で行う、購入する際は人や環境にやさしい商品を選ぶ、といった消費者の小さな努力も大切ではないかと思います。